

第4学年 算数科学習指導案

指導者 教諭  
 児童数 10名  
 場所 4年教室

1 単元名 図を使って考えよう

2 単元の目標【評価規準の観点】

- (1) 順に戻して考えることに感心を持ち、進んで問題に取り組もうとしている。  
【主体的に学習に取り組む態度】
- (2) 3要素2段階の問題場面を図に表し、筋道を立てて説明することができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 順に戻して解決する方法を理解し、問題場面を図に表して解決に利用することができる。  
【知識・技能】

3 タブレットの利活用について

パーソナルワーク(PW)で自力解決した個人のノートをおクリンクを用いて写真に撮り、クラス全員で共有する。  
 児童は、グループワーク(GW)において、クラス全員の考えを参考にしながら自分たちの考えをホワイトボードにまとめることができる。

4 本時の学習

- (1) 目標  
 3要素2段階（積・和・差）の問題を図に表して、順に戻る思考法を用いて解決することができる。  
【思考力・判断力・表現力】
- (2) 展開（ …評価 ●…達成不十分な児童への指導）

過程	学 習 活 動	形態	指導上の留意点
導 入	1 本時のめあてを確認する。	CW	○ 問題文を全員で読み、前回と同じく問題場面が、3つの要素で2段階になっていることを確認させ、本時の目標を確認させる。
	めあて 問題場面を図に表して、順に戻って問題を解決しよう。		
展 開	2 問題場面を図に表して解決する。	PW GW	○ 3要素2段階の問題場面を関係図を使って解決させる。 ○ <b>解決したノートをおクリンクのカメラ機能で写真にして、クラス全員に送らせる。</b>
	3 グループで、みんなの考えをまとめる。	CW	○ <b>おクリンクで送られてきたクラス全員の考えを参考にしながら、グループの意見をまとめさせる。</b> ○ 友だちのノートを写すのではなく、参考にしながらグループとしての意見をまとめさせる。
	4 それぞれのグループのまとめを発表する。		○ 発表中、2か所は聞いている児童に答えさせる場所を作っておかせる。

			<p><b>【評価の観点】</b></p> <p>B 問題場面を図に表して解決することができる。(ワークシート)</p> <p>● 関係図の枠をかかせて、それぞれの項目に何を書くかを考えさせる。</p>
	5 練習問題をする。		○ 必ず図に表して、順に戻して解決するように指示する。
ま と め	6 本時の学習内容 のまとめをする。	CW	○ クラスワークのグループ発表を基に、良かったところを評価する。
	7 振り返りを書く。	PW	○ 本時の学習のキーワードを提示して、児童自身の言葉で本時のまとめを書かせる。  ○ 振り返りの観点を基に書かせる。